

潜入!! 工事現場

工防災 現場

途chuアフター

第32回>>> 総合防災訓練



いつ起きるか分からぬ地震に備えて
いるトチューです。
大地震が起きた時、帰宅困難者を
一時滞在施設へ誘導する訓練が柏駅前で
開催されると聞いて、どんな訓練か見てき
たよ！

大規模災害は、職場や学校、外出先など、皆さんのが自宅から離れた場所にいる時に起きるかもしれません。市の調査では、最大震度6強の柏市直下型地震が発生した場合、柏駅周辺でおよそ16,000人の帰宅困難者が発生すると見込んでいます。

そこで市では、柏駅周辺帰宅困難者等対策ネットワークの構成団体と協力し、柏駅前で帰宅困難者が発生した際の対応を実践する訓練を開催。訓練にはホテルや商業施設など柏駅周辺の7つの施設と、鉄道・バス会社が参加しました。

また、帰宅困難者役には、公募による一般参加者およそ160人に加え、市内の中学生およそ50人が参加しました。駅構内だけでなく施設内にも帰宅困難者役を配置し、より実際の状況に近い環境で臨んだそうです。

訓練が始まると、柏高島屋や柏商工会議所、駅構内などで一時滞在施設の開設を知らせるアナウンスが流れ、デ



落下物等の危険を意識しながら
一時滞在施設へ移動

トチュー調査員の もつと 知りたい！

Q1 帰宅困難になったときに気を付けることは？

A 慌てて帰宅せず、安全な場所へ移動し、災害情報等を取得し状況を確認しましょう。職場など安全な場所がある場合は、とどまるこども選択肢の一つです

柏駅周辺帰宅困難者等対策ネットワークのメンバーは？

JR東日本、東武鉄道、東武バスセントラル、阪東自動車、柏商工会議所、柏高島屋ステーションモール、高島屋柏店、ファミリーカシワ、柏プラザホテル、ザ・クロストホテル柏、東横INN（柏駅東口・西口）、柏警察署、東葛飾地域振興事務所が加入しています。訓練には、つくばエクスプレスも参加しました

【問い合わせ】 広報広聴課 7167-1175・FAX 7166-8289



ジタルサイネージやオンラインでも情報が発信されました。市と関係機関は災害用のIP無線機を活用し、交通状況や一時滞在施設の入所状況など、リアルタイムで把握します。

各所で情報を受け取った帰宅困難者たちは9つのグループに分かれ、市の職員の誘導に従って一時滞在施設へ向かいました。また、災害時は電話やインターネットが使えない場合があるため、NTTの災害用伝言ダイヤル・伝言板や災害時用Wi-Fiサービス「00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）」を使用し、参加者は、通信障害時でも家族と連絡を取る方法を習得しました。さらに、柏中学校で中学生を対象にした負傷者の救助に役立つ体験なども行われ、もしもの時に落ち着いて行動するための対策を学びました。

大切な人との 安否確認 災害用伝言ダイヤル「171」

携帯電話や公衆電話から「171」に発信し、「連絡を取りたい電話番号」を入力すると、30秒間音声を録音・再生できます。毎月1・15日、正月（1月1日～3日）、防災とボランティア週間（1月15日～21日）に体験利用ができます。

30秒で「あ・い・た・い・よ」を伝えよう

- あ** あなたの名前は？（フルネーム）
- い** 今いる場所は？（具体的な場所）
- た** 誰と一緒に避難しているか？（一緒に避難しているかた）
- い** 痛いところはあるか？（けがや体調）
- よ** 予告（次の連絡はいつか）

訓練後は課題を市と関係機関で共有し、さらに対応を強化していくそうです。災害に強い街を目指し、市の災害対策も日々進化していくんですね。ご協力いただいた防災安全課の皆さん、ありがとうございました！